

# 令和5年度

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

# 事業計画書

# 令和5年度事業計画

## 1. 事業活動方針

令和5年度は、国内でもアフターコロナに向けて行動制限の緩和と経済活動の正常化が進む見通しです。喜ばしい反面、重症化リスクの高い高齢者等にサービスを提供する福祉公社においては、ご利用者と職員の健康を守るため、引き続き感染予防対策を取りながら事業運営をしなければなりません。また、深刻な人材不足により担い手がいなければ収入が減り、上昇し続ける物価によって支出が増えるという厳しい環境の中で経営を維持するためには、限られた人材を収益事業に集中させる必要があることから、不採算事業については一部休止をする方針です。さらに、退職者を補う新たな採用と育成に時間を要する状況を踏まえ、令和5年7月を目途に東部及び北部ヘルパーステーションの統合を行い組織をスリム化するとともに、職員の連携強化と経費削減を図ります。

### (1) 第3期中期計画の推進

計画の3年目となる令和5年度は、重点施策に沿って下記課題を中心に取り組んでまいります。また、令和4年度の実績を踏まえ、計画の中間見直しを行います。

### (2) 重点課題

#### ①人材の育成

入門的研修及び介護職員初任者研修等の開催により新たな有資格者の育成、教育機関等との連携による実習受入及び講師派遣の継続に加え、組織体制の強化を図るため、次世代の管理・監督職となる人材の育成に注力します。

#### ②柔軟で多様な雇用形態の研究・実施

訪問介護事業においては、空き時間を有効に使える「直行直帰」の働き方が主婦層の採用に繋がってきましたが、近年の労働法や税制等の改正により、今まで以上に働き手のニーズが幅広くなっています。適正な雇用管理が可能な範囲で、できる限り柔軟で多様な雇用形態を整えることにより、人材確保の機会を広げます。

#### ③ICT化の推進

介護現場における生産性の向上を目指し、リモートワーク環境の整備、タブレット活用範囲の拡大、介護ロボットの導入等ICT化を順次進めます。

#### ④新規事業への参入

地域包括支援センター運営事業の一環として、新たに生活支援コーディネーターを配置し、地域の資源づくりのための支援を行います。

## 2. 事業計画

### ① 居宅介護支援事業

主任介護支援専門員3名を中心に、専門職チームとして社内及び関係機関との連携体制を維持していくことで、質の向上及び業務の効率化を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	307,861単位	195件
令和4年度見込	295,607単位	185件

### ② 介護予防ケアマネジメント事業

要支援の認定を受けた方々に対し、高齢者サポートセンターとの連携を図りながら、生活支援・介護予防・社会参加から自立支援につながるケアマネジメントを行います。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	6,570単位	15件
令和4年度見込	6,570単位	15件

### ③ 介護予防支援事業

要支援の認定を受けた方々に対し、高齢者サポートセンターとの連携を図りながら、介護予防の視点でのケアマネジメントを行い、サービスを利用することで自立支援につながるケアマネジメントを行います。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	6,570単位	15件
令和4年度見込	12,264単位	28件

### ④ 要介護認定調査事業

担当外福祉公社契約利用者と、契約利用者以外の要介護認定調査も継続的に行うことで、初見での限られた時間内で対象者の持つ様々な側面を的確にアセスメントする技術を高めていきます。また、契約利用者については担当との双方の確認を行うことで視点の向上に努めます。

指標	市川市内	他市町村 (月単位)
令和5年度目標値	6件	2件
令和4年度見込	7件	2件

⑤ 訪問介護事業

i) 東部ヘルパーステーション

居宅介護支援事業所と密なる連携の下、自立支援の基本理念を踏まえたサービスを提供し、必要なサービスが継続的に提供できる体制を維持することで選ばれる事業所を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	406,966単位	82件
令和4年度見込	397,670単位	82件

ii) 西部ヘルパーステーション

居宅介護支援事業所や関係機関と連携を図り、「住み慣れた我が家で生活を続けたい」というご利用者のニーズに対応していけるよう、夜間対応型訪問介護事業を実施している巡回ヘルパーステーションとともに、地域に選ばれる事業所を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	535,085単位	103件
令和4年度見込	568,763単位	112件

iii) 南部ヘルパーステーション

居宅介護支援事業所や関係機関との連携を強化し、ご利用者の変化やニーズに迅速に応える対応力と専門職としての提案力を持ち、ご利用者やご家族のより良い在宅生活の支援に努めます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	326,560単位	52件
令和4年度見込	324,210単位	52件

iv) 北部ヘルパーステーション

ご利用者やご家族のニーズや状態の変化に気づき、居宅介護支援事業所や関係機関と連携を図りながら迅速な対応の下、住み慣れたご自宅での生活が継続出来るように支援に努めます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	382,668単位	78件
令和4年度見込	363,514単位	76件

⑥ 介護予防訪問型サービス（総合事業）

i) 東部ヘルパーステーション

高齢者サポートセンターや居宅介護支援事業所との連携により、ご利用者が自立した生活ができるよう、心身の状態等を踏まえた自立支援に資するサービスの提供を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和5年度目標値	50,358単位	33件
令和4年度見込	44,519単位	30件

ii) 西部ヘルパーステーション

ご利用者が住み慣れた地域で安心した日常生活を続けていけるよう、高齢者サポートセンターや居宅介護支援事業所と連携を図り、自立支援や重度化防止に向けたサービス提供に努めます。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和5年度目標値	50,490単位	27件
令和4年度見込	49,172単位	27件

iii) 南部ヘルパーステーション

自立支援・重度化防止を念頭に協働することで、ご利用者自身の目標を達成し、望む在宅生活が実現できるようサービス提供します。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和5年度目標値	59,103単位	33件
令和4年度見込	56,686単位	33件

iv) 北部ヘルパーステーション

高齢者サポートセンターや居宅介護支援事業所と連携を密にとり、ご利用者のニーズが自立支援や重度化防止に近づけられるよう、サービス提供を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和5年度目標値	42,768単位	27件
令和4年度見込	41,290単位	27件

⑦ 夜間対応型訪問介護事業

市内の夜の安心をサポートしている事業所として、24時間安心してその人らしい在宅生活が継続できるよう、定時及び緊急時の訪問や連絡、相談を受け、特に日中の緊急訪問は、西部ヘルパーステーションと連携を図り、ご利用者のニーズに迅速に応えられるよう努めます。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和5年度目標値	316,303単位	100件
令和4年度見込	285,540単位	93件

⑧ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるように、日中は生活リズムに沿ったサポートを行い、夜は安心して休んで頂けるようにご利用者の状況に合わせたサービス提供に努めます。夜間対応型訪問介護同様、特に日中の緊急訪問は、西部ヘルパーステーションと連携を図り、ご利用者のニーズに迅速に応えられるよう努めます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	182,410単位 (4.3)	7件
令和4年度見込	73,957単位 (4.7)	4件

⑨ あんしん電話受信センター運営事業

市川市より委託を受け、65歳以上の独居、高齢者世帯または障がい者に対し、あんしん電話を設置し、通報内容に応じた救急車の要請、支援員の派遣、その他多岐にわたる相談業務を実施します。

⑩ 緊急時支援員派遣制度事業

あんしん電話の設置者の中で要件を満たし、契約を締結したご利用者から通報があった場合に、18時～翌朝8時までの間に支援員を派遣します。

⑪ 計画相談支援事業

住み慣れた地域の中で安心して暮らしていけるよう、日常生活全般に関して抱えている課題を整理し、ご利用者及びご家族と共に必要な支援を受けられるようプランを作成します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	85,140単位	55件
令和4年度見込	95,887単位	58件

⑫ 障害児相談支援事業

児童が地域の中で健やかに成長できるよう、抱えている課題を整理し、ご利用者及びご家族と共に将来を見据え、必要な支援を受けられるプランを作成します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	8,295単位	5件
令和4年度見込	12,831単位	7件

⑬ 居宅介護・同行援護事業

i) 東部ヘルパーステーション

ご利用者をご自宅での自立した生活を継続できるよう、個々の障害の特性を理解し、関係機関と連携を図りながら質の高いサービスの提供に努めます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値		
・居宅介護	201,435単位	39件
・同行援護	8,164単位	2件
令和4年度見込		
・居宅介護	230,850単位	38件
・同行援護	7,880単位	2件

ii) 西部ヘルパーステーション

ご利用者が地域で日常生活全般を安心して過ごせるよう、夜間担当の巡回ヘルパーステーションと共に計画相談支援事業所等との連携を密に図り、サービスの提供に努めます。また、同行援護については、今年度も休止とし、既存のご利用者への支援の必要性が求められたときに、事業の再開を検討します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値		
・居宅介護	457,019単位	53件
・同行援護		休止
令和4年度見込		
・居宅介護	466,690単位	56件
・同行援護		休止

iii) 南部ヘルパーステーション

ご利用者が主体的に自立した生活や就労が継続できるよう、個々の障害の特性を理解し、共に考え、関係機関と連携を図りながらサービスを提供します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値		
・居宅介護	188,160単位	40件
・同行援護	35,808単位	6件
令和4年度見込		
・居宅介護	189,826単位	40件
・同行援護	34,590単位	6件

iv) 北部ヘルパーステーション

ご利用者をご自宅で生活が継続できるよう、相談支援事業所と連携を図りながら、ご利用者やご家族のニーズに対応できるよう積極的に提案し、自立支援に資するサービスを提供します。同行援護につきましては柔軟にご希望に対応します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値		
・居宅介護	282,458単位	37件
・同行援護	0単位	0件
令和4年度見込		
・居宅介護	265,572単位	36件
・同行援護	1,168単位	1件

⑭ 養育支援訪問事業

市川市より委託を受け、養育者の体調不良等により育児や家事を行うことが困難な時にヘルパーが訪問し、安心した育児生活ができるよう支援します。

⑮ 介護サポートサービス事業

ご利用者が地域で安心して生活できるよう、生活の困りごとを補完するサービスとして通院・生活支援等を継続します。今年度は、ニーズや地域資源の状況により事業内容を精査し、子育て支援・緊急通報対応・利用料金などの見直しを行います。

(ふくふく)

指標	活動時間	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	5,220分	32件
令和4年度見込	5,135分	33件

(いきいき-制度相当)

指標	活動時間	利用回数 (月単位)
令和5年度目標値	120分	2回
令和4年度見込	45分	2回

(いきいき-非該当)

指標	活動時間	利用回数 (月単位)
令和5年度目標値	120分	2回
令和4年度見込	0分	0回

(プラスワン)

指標	利用回数 (月単位)
令和5年度目標値	4回
令和4年度見込	10回

(ぴよぴよ)

指標	活動時間	利用者件数 (月単位)
令和5年度目標値	30分	1件
令和4年度見込	120分	1件



(りんりん)

指標	利用者件数	(月単位)
令和5年度目標値	1件	
令和4年度見込	0件	

⑩ 地域包括支援事業 高齢者サポートセンター八幡（委託事業）

i-a) 地域包括支援センター運営事業

地域に根付いた総合窓口として高齢者等が、「自分らしい暮らし」を営めるよう変化に対応した必要な援助を市川警察生活安全課や保健所、薬局等と継続連携していきます。また、新型コロナウイルス感染状況を勘案しながら権利擁護イベントや家族介護者教室・介護者相互の交流会等介護方法の周知、状態の維持・改善を目的とした教室を地域と共生しながら生活支援・介護予防・社会参加の支援体制作りを実施することで、地域包括ケアシステムの実現を目指していきます。

担当地区： 八幡・南八幡

i-b) 介護予防ケアマネジメント事業（包括的支援事業）

委託先の居宅介護支援事業所との連携を図りながら、要支援・要介護状態になるおそれのある担当地区高齢者に対し、訪問型及び通所型サービス、基準緩和型通所サービスや地域資源等を活用して、生活機能の維持向上を目指したケアマネジメントを介護予防支援事業と連動して行います。

指標	報酬単位	利用者件数	(月単位)
令和5年度目標値	31,536単位	72件	
	〔直営： 4,456単位	33件	〕
	委託： 17,082単位	39件	
令和4年度見込	26,718単位	61件	
	〔直営： 9,636単位	22件	〕
	委託： 17,082単位	39件	

i-c) 介護予防支援事業（指定介護予防支援事業）

委託先の居宅介護支援事業所との連携を図りながら、要支援の認定を受け介護保険サービスの利用希望された方々に対し、効果的かつ効率的な生活支援・介護予防・社会参加につながる生活機能の維持向上を目指したケアマネジメントを介護予防ケアマネジメント事業と連動して行います。

指標	報酬単位	利用者件数	(月単位)
令和5年度目標値	48,618単位	111件	
	〔直営： 14,016単位	32件	〕
	委託： 34,602単位	79件	
令和4年度見込	42,924単位	98件	
	〔直営： 8,322単位	19件	〕
	委託： 34,602単位	79件	

ii) 認知症地域支援推進員

事業 2 年目として、市及び関係機関と効率よく連携を図りながら、同事業を実施する高齢者サポートセンターと協力し、地域の障害事業所等と認知症カフェの企画・運営、社会的理解を深められる普及啓発活動をします。地域の特性を生かしながら、認知症の悪化防止のための支援を実施します。

iii) 生活支援コーディネーター

令和 5 年 7 月から新規事業として、委託試行期間の受託をし、市及び関係機関との連携を図りながら、市主催の会議参加や地域ケア会議の運営に携わり、地域の資源作り支援を実施します。

⑰ 介護職員初任者研修事業 (旧：2 級ヘルパー養成研修事業)

訪問介護員の不足は国の重点課題にもなっており、福祉公社においても年々深刻な問題となっていることから、訪問介護員の人材確保のため、年 2 回実施します。

指標	受講者数
令和 5 年度目標値	20 名
令和 4 年度見込	24 名

⑱ ペーパーヘルパーチャレンジ講座

就労支援及び介護職の人材不足解消策として、潜在する介護資格保有者の掘り起こしを目的とし、社会情勢に合わせて開催地域と開催日を設定、現場で使用している福祉用具を用いて、受講生の希望に柔軟に対応できる受講内容と参加しやすい体制で実施します。

指標	開催回数
令和 5 年度目標値	年 6 回
令和 4 年度見込	年 7 回

⑲ 入門的研修事業

市川市より委託を受け、介護未経験者に対し、介護に関する基本的な知識や技術を学んでもらい、終了後に介護分野への参入のきっかけ作りとして、介護業務に対し多様な人材の参入促進を図ります。

指標	開催回数
令和 5 年度目標値	年 2 回
令和 4 年度見込	年 2 回